

第1分科会

**地域とともにある学校として持続発展するために
～地域と連携・協働した取組について～**

発 表 者 青森県立森田養護学校 校長 菊地 圭子


学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動 推進員等数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
青森県つがる市	91名	平成30年度	10名	4回	1名

学校教育目標

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を行い、将来の自立と社会参加を目指して、その基盤となる「生きる力」を育成する。

学校・地域の特徴

- 青森県の西北地域に位置するつがる市森田町に所在。りんご畑に囲まれた自然豊かな高台にある。
- 知的障がい並びに知的障がいを伴う肢体不自由を有する小学部から高等部までの児童生徒が在籍している。
- 西北地域唯一の特別支援学校として、地域における特別支援教育への支援を行っている。



学校運営協議会の概要

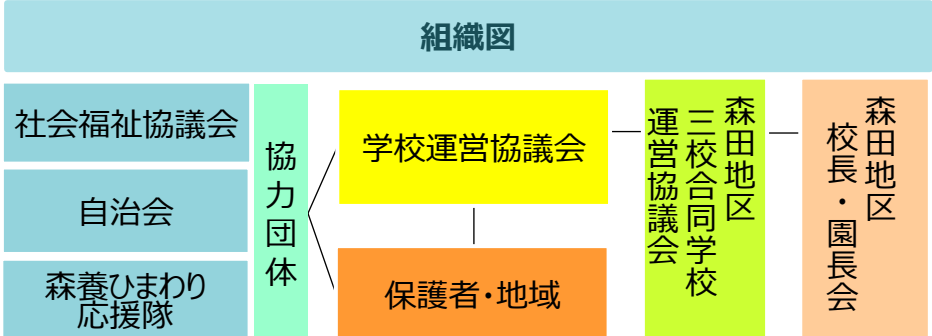
委員の構成

- 学識経験者（大学准教授）
- 隣接福祉施設園長
- 地区自治会長
- 発達障害者支援センター所長
- 障害者就業・生活支援センター所長
- 地域活性化企画集団代表
- 保護者代表（PTA会長）
- 学校ボランティア組織代表
- 地域学校協働活動推進員
- 学校長

これまでの主な議題例

- 学校経営方針
- 事業計画・報告
- 進路状況
- 学校評価
- 地域と学校の関わり方
- 地域が一つになる活動と手立て
- 特別支援教育を広く知ってもらうには

組織図



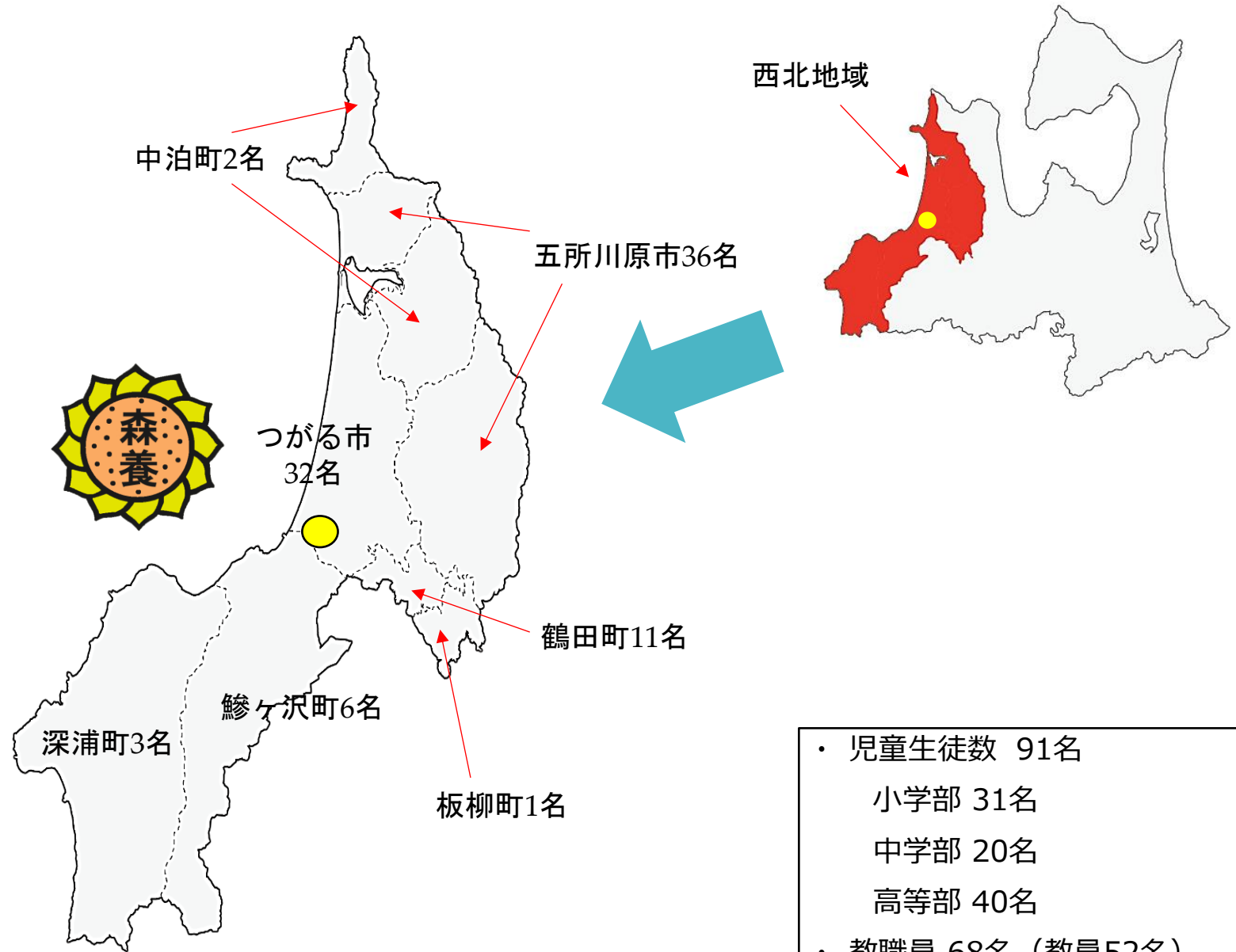
```

graph TD
    SMC[学校運営協議会] --- SFC[社会福祉協議会]
    SMC --- LG[自治会]
    SMC --- SMCV[森養ひまわり応援隊]
    SMC --- PTG[保護者・地域]
    SMC --- SCS[森田地区三校合同学校運営協議会]
    SMC --- SLD[森田地区校長・園長会]
    
```

地域学校協働活動の特徴的な取組や工夫など

- 障がいのある子どもたちを理解し、対等、平等にお互いを尊重しあってほしいと願い、昭和55年から近隣校や地域住民等との交流を始めている。現在は、学校間交流、居住地校交流、近隣施設の清掃活動や高齢者世帯の雪かきボランティアなどの地域貢献活動、地域の人材を活用した授業に取り組んでいる。
- 令和2年度に学校運営協議会委員が中心となり、元学校職員、保護者、地域住民、福祉事業所職員等による学校ボランティア組織「森養ひまわり応援隊」が結成される。学校行事や地域学校協働活動の支援、つがる市立図書館から児童生徒がリクエストした図書 の運搬、花壇整備などを行っている。
- 平成30年度から学校所在地に隣接する鱒ヶ沢町の総合防災訓練に参加し、令和2年度に災害時要配慮者の避難施設として災害協定を締結した。

学校所在地



- 児童生徒数 91名
 - 小学部 31名
 - 中学部 20名
 - 高等部 40名
 - 教職員 68名 (教員52名)
- ※令和6年4月1日現在

- 昭和42年12月 青森県立第二養護学校森田分校開校（施設内）
- 昭和46年 4月 青森県立第三養護学校森田分校
- 昭和48年 4月 青森県立弘前養護学校森田分校（校舎独立）
- 昭和50年 4月 青森県立森田養護学校（昇格）
- 昭和55年** **近隣校・園との交流開始**
- 11月** **第1回ふれあいの広場開催** ※現在は学習発表会
- 平成元年 4月 高等部新設
- 平成26年 4月 新たに知的障がいをもつ肢体不自由部門設置
- 平成29年 4月 スクールバス運行開始
- 平成29年 9月 創立50周年記念式典挙行
- 平成30年 4月** **コミュニティ・スクールモデル校となり学校運営協議会設置**
- 令和 5年～6年** **地域と学校とのパートナーシップ強化事業モデル校となり地域学校協働活動推進員が配置**
- 令和 6年 4月 コミュニティ・スクール7年目

青森県の県立特別支援学校における コミュニティ・スクール導入モデル事業

導入年	導入校名
平成30年度導入	県立森田養護学校
令和元年度導入	県立弘前聾学校 県立八戸高等支援学校
令和3年度導入	県立青森第一高等養護学校 県立浪岡養護学校 県立八戸盲学校・県立八戸聾学校

令和5年度から県内の特別支援学校全てで導入

1 これまでの取組について

(1) 学校運営協議会組織等

(2) 児童生徒の地域連携・地域貢献活動とそれを支える
取組

(3) 3校合同学校運営協議会

(4) 校内職員全体熟議

2 現在の取組について

3 今後について

(1) 学校運営協議会組織等

項目	内容
人数	H30～R3 学校運営協議会委員5名+学校評議員5名 計10名 R4～ 学校運営協議会委員10名
構成 【新規】学校運営協議会委員 【継続】学校評議員	【新規】教育大学准教授、イベントコーディネーター、観光協会理事、PTA会長、校長（H30～） 森田地区自治会長（R1～）、森養ひまわり応援隊（R2～） 地域学校協働活動推進員（R5～） 【継続】障害児入所施設長、発達障害者支援センター長、障害者就業・生活支援センター長（R4から学校運営協議会委員） 森田小学校PTA会長（～R4）、商工会事務局長（～R3）
回数	年4回（うち1回は、R4から3校合同学校運営協議会を開催） 上記の他に学校行事や研究授業を案内
運営担当者	学校評議員会の運営担当者（教頭、事務長、教務主任等）
学校職員参加者	・運営担当者 ・学部主任、進路指導主事（H31～）

地域とともにある 学校づくり



【学校教育目標】

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を行い、将来の自立と社会参加を目指して、その基盤となる「生きる力」を育成する。

【学校経営方針】

- ・地域に開かれ、**地域に貢献し**、信頼される学校づくりの推進（R2に青字を追加）
- ・学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）として、社会に開かれた教育課程を展開する。（H31に追加）→ 地域の特性を活かした教育課程を工夫し、教育活動を展開する。（R2に下線部を変更）
- ・地域と連携した学習活動の展開（R2に追加）

(2) 児童生徒の地域連携・地域貢献活動

① 交流及び共同学習

(ア) 学校間交流 (小学校、中学校、高等学校、保育園等)

(イ) 居住地校交流 (小学校15名、中学校4名)

(ウ) 地域住民との交流 (シルバークラブ)

② 地域貢献活動

(ア) 道路クリーン作戦 (小学部)

(イ) 雪かきボランティア (中学部)

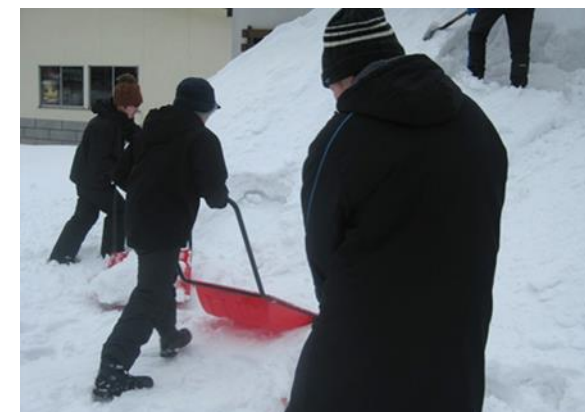
(ウ) つがる地球村清掃活動、出前喫茶「それいゆ」 (高等部) etc.

③ 外部人材を活用した学習

(ア) 絵本の読み聞かせ (小学部)

(イ) 相撲 (中学部)

(ウ) ゲートボール (高等部) etc.



地域連携・地域貢献活動を支える取組

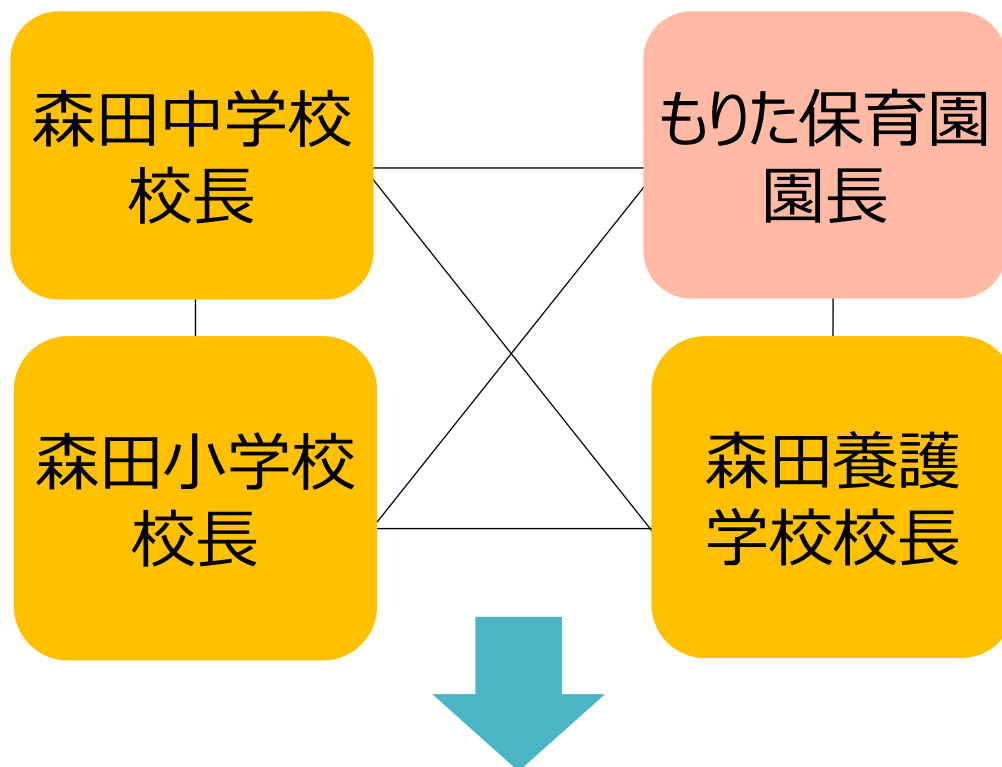
- ① 学校運営協議会委員の委嘱（H30）
- ② 先進校視察、セミナーへの参加、研修会の実施（H30）
- ③ つがる市立図書館団体登録（H30）
- ④ コミュニティ・スクールだより「つながる」発行・配布・掲示（R1）
- ⑤ 校内研究「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり～地域とともに育てる授業づくり～」（R2～3）
- ⑥ ボランティア組織「森養ひまわり応援隊」結成（R2）
- ⑦ 鯹ヶ沢町災害時応援協定締結（R2）
- ⑧ 長期休み中の高等部作業製品展示（R3）
- ⑨ 3校合同学校運営協議会開催（R3延期、R4）
- ⑩ 校内職員全体熟議開催（R5） etc.

学校運営協議
会委員も授業
を参観して感想
を提出



(3) 3校合同学校運営協議会

令和3年度 森田地区校長・園長会議



3校合同学校運営協議会の開催を各校で提案してみよう

3校合同学校運営協議会

森田小学校
学校運営協議会委員
8名

森田中学校
学校運営協議会委員
8名

森田養護学校
学校運営協議会委員
10名



進 行.....本校教頭

ファシリテーター...本校教務主任、学部主任等

グループ.....3校の学校運営協議会委員数名ずつの混合（5～6名）

年度	3校合同学校運営協議会 熟議のテーマ
R 3	「地域と学校の関わり方 ～3校の今後の関わり方～」
R 4	「これまでの活動と今後の展望」 「地域と学校が協力してできること」
R 5	「地域が一つになる活動と手立て」「特別支援教育を広く知ってもらうには」
R 6	森田地区ランドデザイン「地域で育てたい児童生徒の姿、そのためにできること」

(4) 校内職員全体熟議

3校合同学校運営協議会の提案を次年度の教育活動につなげるためには？

- 3校合同学校運営協議会の内容を**校内で情報共有しよう！**
- 提案事項を校内で**年度内に検討しよう！**
 - ・現在の教育活動とのつながりや次年度の教育活動を整理しよう
 - ・**ブラッシュアップする**という考え方で！
- 学校運営協議会への**意識を高めよう！** etc.



【R5】校内職員全体熟議を開催

3校合同学校運営協議会後に校内の職員全員で熟議を行い、提案事項を検討する。

- ・同学部の教員 5～6人で1グループ。
- ・提案の中から取り上げたい活動について具体的な取組方法を話し合う。

これまでの取組について

授業担当者

学部主任

3校合同学校運営協議会 10/6



グループごとの発表



学校運営協議会

授業実践

学部会

各学部の教育課程や年間指導計画等にどのように落とし込むかを具体的に検討

職員会議1/23

まとめ会議からの活動候補の提案



地域学校協働活動推進員

関係各所と調整

管理職作成

本校の校内職員全体熟議 12/5

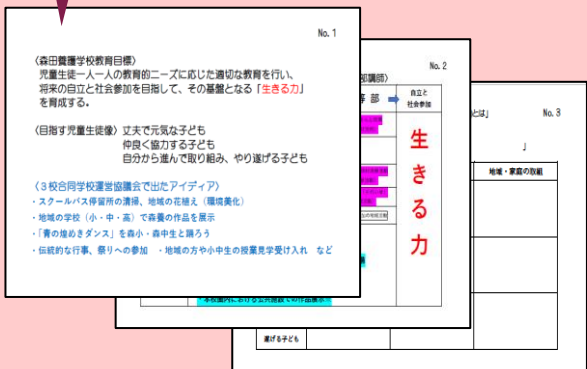
教頭が資料作成

職員会議12/20 職員全体熟議で出された6つの提案と今後の動き

まとめ会議1/18

各学部の教育課程及び小～高等部までの系統性を考慮したときに取り組める活動の絞り込み

管理職、教務・学部主任



同じ学部の教員 5～6人で1グループ



グループごとの発表



活動ごとに整理した資料

校内職員全体熟議の資料

〈森田養護学校教育目標〉

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を行い、
将来の自立と社会参加を目指して、
を育成する。

〈目指す児童生徒像〉 丈夫で元気な子
仲良く協力する
自分から進んで

〈3校合同学校運営協議会で出たアイ
・スクールバス停留所の清掃、地域の花植え
・地域の学校（小・中・高）で森養の作品を展
・「青の煌めきダンス」を森小・森中生と踊る
・伝統的な行事、祭りへの参加 ・地域の方

R5 〈コミュニティ・スクール事業活動、地域連携、外部講師〉

自分から進んで取り組み、やり進める子ども 仲良く協力する子ども 丈夫で元気な子ども	小学部	中学部	高等部	自立と 社会参加
	授業（外部人材活用） ・絵本読み聞かせ ・うらちゃんXmas	授業（外部人材活用） ・相撲授業 ・高齢者疑似体験	授業（外部人材活用） ・GOMAさんと授業	生き
	授業（地域貢献活動） ・道路クリーン作戦		授業（地域貢献活動）	

熟議テーマ:①「児童生徒が主体的に地域と協
②「児童生徒の『自立と社会参加

本校が取り組んでいる地
域と連携した学習活動を、
小学部から高等部への系
統性も分かるように記載し
た資料

各グループで取り上
げたい活動について
具体案を記入する
資料

話題に取り上げたい活動:「

教育目標	学校・職員の取組	子どもの取組	地域・家庭の取組
丈夫で元気な 子ども			
仲良く協力する 子ども			
自分から進んで取 り組み、やり進め る子ども			

本校の学校教育目標、目
指す子ども像、3校合同
学校運営協議会で出され
た提案を記載した資料

【実践例】

地域の花植えから社会福祉協議会の地域協働菜園作りへ

3 校合同学校運営協議会：地域の花植え

校内職員全体熟議：森田小学校・シルバークラブと一緒に社会福祉協議会の花壇整備

社会福祉協議会・森田小学校に相談

芋掘りのイベントに参加しているから大丈夫



芋掘りイベントで使っている畑作りを手伝ってほしい



社会福祉協議会に花壇整備をさせてもらいたい
森田小学校との交流をもっとふれ合う活動にしたい



一緒に地域協働菜園を作しましょう

森養ひまわり応援隊もお手伝いしますよ



シルバークラブも一緒に作りますよ

● 地域協働菜園に取り組んでいる様子



- 1 森田地区のグランドデザイン作り
- 2 3校合同学校運営協議会での提案を次年度の教育活動につなげる流れの定着
- 3 「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の視点を押さえた学習活動の展開
- 4 これまでの取組を継続・発展させるための組織づくり
(学校運営協議会委員の選定も含めて)